

## 令和6年度 事業報告

### 1 法人の現況

#### (1) 事業の経過

法人の令和6年度の業績は、感染症対策時代から脱却し急激な気候・気温変化などに対応しながら各事業・各職員は、「不安やお困りごと」に耳を傾け寄り添い、必要とされる介護業務を実行しました。

日本の人口は、減少を続けていますが次の表の様に「高齢者事業」の必要性は維持されていますが、「担い手」は減少しています。

法人が主たる運営地域とする足立区北西部、特に西新井・栗原地区の人口

(単位:人)

人口動向	令和5年4月1日現在		令和6年4月1日現在 (A)		令和7年1月1日現在 (B)		増加数 (B-A)	
	足立区	西新井・栗原地区	足立区	西新井・栗原地区	足立区	西新井・栗原地区	足立区	西新井・栗原地区
人口	691,372	34,190	693,121	34,229	698,276	34,309	5,155	80
高齢者	169,618	8,271	171,564	8,291	168,751	8,281	-2,813	-10

#### 足立区高齢者人口推計

(単位:人)

	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	⇒	2030年度 (令和12年度)	⇒	2040年度 (令和22年度)
総人口	694,869	697,096	698,828	⇒	701,303	⇒	704,138
高齢者数 (65歳以上)	171,564	173,323	175,143	⇒	184,888	⇒	225,952
年少人口 (0~14歳)	72,855	71,832	70,726		65,547		64,493

参考データ: 足立区高齢者保健福祉計画第9期介護保険事業計画より (令和5年10月1日現在)

今期の「事業活動・施設設備等に係る収入」は、各補助金を含め3億3867万円となりました。  
(内、東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当 414万円  
物価高騰対策関連補助金 約75万円)

他方、「事業活動・施設設備等に係る支出」は、職員雇用維持・離職防止の対応などの人件費増加により、3億2633万円となりました。

これにより、本年度の資金収支差額は1233万円となり、事業活動収支計算書における当期活動増減差額は1702万円、次期繰越活動増減差額は2億3602万円となりました。

(単位:万円)

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	30,744	31,284	33,867	2,583
施設設備等収入	0	0	0	0
事業活動支出	29,093	30,245	31,901	1,656
施設設備等支出	123	83	732	649
資金収支差額	1,527	956	1,233	277
当期活動増減差額	1,344	1,004	1,702	698

利用者、施設来所者、職員の安全には十分に配慮していますが、本年度も通所介護サービスにおいて入浴介護中の事故、車両の接触事故などが起き、所管行政機関への要報告が発生しました。

居宅介護支援事業所では、書類不備・提出先誤りなどが増加しました。

事故発生数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
発生数	34	49	57	8
(うち転倒事故)	14	11	11	0
(うち行政機関報告件数)	3	5	1	-4

各職員は、健康管理（健康診断・ストレスチェック・各予防接種等）を適切に行い、感染対策や労災事故対策をしています。本年度の労災事故は2件でした。

労災事故発生数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
発生数	0	1	2	1

発生内容 1) 介護職員が送迎時に外階段で滑り転倒、頭部打撲

2) 送迎運転手が、自転車により出勤途中、飛び出してきた自転車を避けた際に転倒右足の打撲

### 《拠点区分別・サービス区分別の状況》

拠点区分別・サービス区分別の状況は、次のとおりです。

なお、[地域予防]・[居宅介護支援]を除くサービス区分の事業は、足立区からの委託事業です。

#### ＜法人本部拠点＞

サービス区分：[法人本部]

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	0	0	1	0
事業活動支出	337	348	325	-23
(うち人件費支出)	322	328	311	-17
資金収支差額	0	0	0	0

事業活動収入は、預金利息収入です。（上記の表記は、1万円未満の時は0円としています）

事業活動支出は、通所介護・認知症対応型通所介護・地域包括支援センター・居宅介護支援の四つのサービス区分からの繰入金収入で賄いました。

（理事会・評議員会等の執行状況）

令和6年度は、理事会を3回（定時3回）評議員会を1回開催しました。

議事の審議は、法令及び定款に従い適正に行われました。

令和7年3月31日現在の理事定員は6名以上7名以内、監事定員は2名、評議員定員は7名以上8名以内です。同日現在の現員は、理事6名、監事2名、評議員8名で、欠員は生じていません。

#### ＜在宅サービスセンター西新井拠点＞

サービス区分：[通所介護]・[認知症対応型通所介護]

[通所介護]

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	15,338	15,679	17,560	1,881
事業活動支出	14,414	14,798	15,943	1,145
(うち人件費支出)	11,066	11,487	12,232	745
資金収支差額	627	910	1,003	93

(単位:人)

利用者数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
利用者数	14,690	14,893	15,397	504
(うち予防等利用者数*)	1,372	1,485	1,401	-84
対定員稼働率	88%	89%	93%	4%

\*介護予防通所介護事業及び介護予防・日常生活総合支援事業(第1号通所事業)の合算利用者数

通所介護サービス利用者数：期初計画 15,020人

#### [認知症対応型通所介護]

(単位:万円)

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	4,885	4,750	4,878	128
事業活動支出	4,456	4,650	4,707	57
(うち人件費支出)	3,648	3,861	3,920	59
資金収支差額	351	44	44	0

(単位:人)

利用者数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
利用者数	2,880	2,713	2,783	70
対定員稼働率	77%	73%	76%	3%

認知症対応型通所介護サービス利用者数：期初計画 2,805人

対定員稼働率は通所介護93%、認知症対応型通所介護76%と、どちらも目標を達成することが出来ました。特に通所介護は計画を大きく上回る結果となりました。

#### ボランティア活動状況

(単位:延人数)

活動内容	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
日常活動ボランティア	1,084	1,149	1,132	-17
講師 ボランティア	50	113	145	32
演芸 ボランティア	36	52	86	34
行事 ボランティア	80	67	56	-11
理髪 ボランティア	60	58	60	2
その他 ボランティア	75	70	88	18
合計	1,385	1,509	1,563	54

令和6年5月より、大正琴グループが演芸ボランティアとして毎月活動に参加して頂けるようになりました。また、「はじめてのフレイル教室」に参加した方が、教室終了後にボランティアとして活動するなど、年間延べ人数で前年実績を上回る方々に支援・協力を受けました。

(本年度主重点施策の結果)

(ア) 高質なサービスの提供

① 自立支援・重度化防止の取組の推進

- ・「パン作り活動」開催日の増加、「そば打ち活動」の再開など、利用者から参加希望の多い活動の提供実施
- ・LIFE (科学的介護情報システム) からのフィードバックを個別機能訓練計画書の作成に活用し、利用者の身体機能維持・向上に繋がるよう支援を実施
- ・入浴介助業務を担う職員に研修を実施し介護技術のさらなる向上に繋がりました

② 感染症や災害への対応力強化

- ・ 感染症対策委員会と保健衛生委員会が合同で感染症に関する研修を実施し感染症に対する意識付けを継続した
- ・ 災害時業務継続計画（BCP）の見直しと机上訓練の実施

③ 第三者評価の毎年度受審と高評価の継続

福祉サービス第三者評価の受審結果は、通所介護が「大変満足」40%「満足」52%と併せて90%の方から満足感があると回答

(イ) 安定した事業運営の保持

- ・ 足立区福祉施設指定管理者等評価委員会における指定管理者業務評価において得点率95%の最高評価（A+）を獲得
- ・ 中重度者ケア体制加算を再取得

※中重度者ケア体制加算を取得可能な要介護3以上の利用者の占める割合を30%以上職員の指定配置基準の職員数に加え、看護職員又は介護職員を常勤換算で2.0人以上

(ウ) 高質なスタッフの確保・育成

- ・ 介護福祉士国家試験を1名が受験し合格
- ・ 資格取得支援制度を利用し介護福祉士実務者研修を1名が受講し終了

サービス区分：[地域予防]

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	0	0	0	0
事業活動支出	21	21	20	0
(うち人件費支出)	21	21	20	0
資金収支差額	3	3	4	0

足立区一般介護予防事業の「はじめてのフル予防教室」修了者等が自主活動グループを発足・活動にあたり助言などの支援を行いました。

利用料無料の事業に付き、所要経費全額を[通所介護]からの繰入金収入で対応しました。

<地域支援西新井拠点>

サービス区分：[地域包括支援センター]

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	5,967	5,872	5,938	66
事業活動支出	5,740	5,678	5,724	46
(うち人件費支出)	5,187	5,270	5,317	47
資金収支差額	170	133	23	-110

(相談件数の状況)

R6年度の相談件数は6,777件で、内訳は一般的な相談、介護予防、介護保険、医療の順に多い。

(単位:件)

相談者区分別相談件数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
本人	2,198	3,363	3,453	90
家族・親戚	1,204	1,361	1,255	-106
ケアマネジャー	1,122	1,215	782	-433
近隣住民・知人	115	104	116	12
公的機関等	401	721	540	-181
その他とも計	5,519	7,413	6,777	-636

(介護予防プラン)

介護予防プラン作成は、全て居宅介護支援事業所へ委託しております。

(単位:件)

介護予防プラン作成件数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
直接担当分	6	0	0	0
他事業所委託分	3,483	3,601	3,533	-68
計	3,489	3,601	3,533	-68

(委託事業実績)

足立区との委託契約内容に沿い全ての委託事業を所定分実施しました。

(ア) 総合相談支援事業

- ①虐待、生活困窮、孤立などを複合的に抱えるケースの相談・対応は横ばい
- ②実態把握訪問は、1242件(区からの指示件数)を100%実施
- ③出張相談窓口を医療機関・各銀行・ドラッグストアなどで年9回開催

(イ) 寄り添い支援事業

絆のあんしんネットワーク連絡会は年4回実施、町会やあんしん協力員・協力機関等延べ185名参加(R5年度115名)、絆のあんしん協力員と協力機関で新規登録34件有り(前年度より12件増加)

(ウ) 認知症カフェ

ホウカツで行う月2回とあんしん協力機関の焼き肉店で行う月1回の計月3回を実施

(エ) 家族介護者教室

月に1回の介護の悩みを話そう会は継続、老い支度の教室やACP(※)を考える会を開催 ※アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて患者さんを主体にそのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセスのことです。

(オ) 認知症施策関連事業

担当区域内の小学校三校すべての4年生向けに認知症サポーター養成講座を実施  
そのうちの1校で認知症声掛け訓練を実施

(カ) 地域ケア会議

精神疾患や認知症をお持ちの方を、いかに地域で支援するかを検討

(キ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

他事業所との世話人会から準備を進めている「にしくりカフェ」を2回実施  
服薬支援機器や心理士について講師を招いて研修会を実施

(ク) 介護予防事業

- ①元気アップ教室やはじめてのフレイル予防教室修了者のグループ15団体が活動中グループの主体性の強弱を吟味しながら、後方支援を実施

- ②住民主体の通いの場としてUR団地集会所にて週1回の開催を開始  
 (ケ) 周辺機関との連携

近隣の病院・介護保険施設・町会・民間事業所等と地域連携について考え、  
 新西新井公園にて第二回西新井多世代交流まつりを実施

サービス区分：[居宅介護支援]

(単位:万円)

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	3,320	3,745	4,250	505
事業活動支出	2,905	3,534	3,985	451
(うち人件費支出)	2,690	3,240	3,721	481
資金収支差額	360	162	114	-48

ケアプラン作成取扱件数は、前年度より増加することができました。  
 業務拡大に伴う職員の増員計画で前年度後期より6名体制となり安定して  
 ございましたが、人員の減少などにより伸び悩みとなりました。

(単位:万円・件)

ケアプラン作成件数		令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
介護給付 プラン作成	介護保険収入	3,087	3,456	3,762	306
	作成件数	1,650	1,745	1,852	107
	1件平均収入(円)	18,711	19,808	20,313	505
予防給付 プラン作成	介護保険収入	149	190	227	37
	作成件数	313	386	481	95
	1件平均収入(円)	4,759	4,936	4,719	-217
計	介護保険収入	3,236	3,646	3,989	343
	作成件数	1,963	2,131	2,333	202

介護給付プラン作成件数は、既存顧客の作成継続に加え、新規の依頼も増加しておりますが、ご逝去・施設入所・入院者増加などにより総件数が鈍化しております。

予防給付プラン作成件数は、介護保険更新時の継続に加え、新たな地域からの依頼もあり前年度を上回る結果となりました。

(単位:万円・件)

介護認定調査件数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
調査件数	82	121	111	-10
収入	36	53	61	8

介護認定調査は、件数はやや減りましたが料金が増額となった為に、増収となりました。

(特定事業所加算対象事業所の維持・グレードアップ)

加算要件を令和6年6月より最上位「I」を取得出来た為、収入増加に繋がりました。  
 また、毎年度受審している「福祉サービス第三者評価」は、高位評価を継続しました。

サービス区分：[会食サービス]

(単位:万円)

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	584	588	576	-12
事業活動支出	562	578	575	-3
(うち人件費支出)	255	260	265	5
資金収支差額	21	10	1	-9

(単位:人)

利用者数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
利用者数	1,293	1,366	1,338	-28

体操付き会食サービスの開催回数を1日増やし週5回にしましたが、介護保険サービスに移行される方や体調不良で休まれる方が多く出たため、期初計画1350人を達成することが出来ませんでした。

事業活動収入は、足立区指定管理者契約に基づく委託料収入、事業活動支出は同契約に係る施設建物設備の更新・小規模修理費用が含まれています。

サービス区分：[地域交流スペース(集会室)貸出サービス]

(単位:万円)

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	476	476	490	14
事業活動支出	530	475	483	8
(うち人件費支出)	197	184	166	-18
資金収支差額	-54	1	6	5

(単位:回)

貸出回数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
貸出回数	222	228	193	-35

高齢化や世話役の不在などにより活動を終了・停止する団体が多くあり活動を継続してる6団体への貸出しが中心となりました。

それ以外は、単発の貸出しとなり、昨年度実績を下回る結果となりました。

事業活動収入は、足立区指定管理者契約に基づく委託料収入、事業活動支出は同契約に係る施設建物設備の更新・小規模修理費用が含まれています。

サービス区分：[高齢者筋力トレーニング]

(単位:万円)

収支	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
事業活動収入	171	171	171	0
事業活動支出	124	159	134	-25
(うち人件費支出)	102	142	117	-25
資金収支差額	46	12	36	24

(単位:回)

参加者数	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
実施ケル数	2	2	2	0
参加者数	32	32	38	6

\*1ケル3か月・12回実施 1ケルの定員：20名

一般介護予防事業である「はじめてのフル予防教室」は足立区より2ケルを受託

事故・苦情も無く実施しました。

参加者を募る地域包括支援センターより利用定員拡大の要望があり、行政機関と協議し1クールの定員を20名に増やし実施しました。

## (2) 施設設備等の状況

(単位:万円)

	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
器具・備品取得支出	40	0	656	656
車輛運搬具取得支出	0	0	0	0
その他とも固定資産取得支出計	40	0	656	656

ア. 固定資産の取得は、事務用パソコン (31台) 交換及び各設定等 (606万円)

全自動血圧計 2 台 (27万円)、温熱パック機器 (23万円) です。

イ. 主な修繕又は改修工事は、デイルーム 4 の改修工事 (167万円)、トイレウォシュレット交換 2 か所、バルコニー天井部防水工事、脱衣室照明設備交換、和室畳替えを実施しました。

ウ. 不動産・設備の原則不所有方針は、引き続き堅持していきます。

## (3) 資金調達の状況

法人の運転資金及び高額設備投資等の資金は、法人創業以来、自己資金により賅っています。

## (4) 従業員の状況

(単位:人)

	令和4年度	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (B-A)
正職員	30	29	31	2
契約職員	46	47	46	-1
計	76	76	77	1

※各年度末人数 但し、退職予定者は含みません。

## (5) 対処すべき課題

高齢者を取り巻く様々な課題や世代間を超えた問題、介護保険制度の方針などに対処し、「必要な介護」に向き合い、適切に事業を進めていくことが求められます。

### (ア) 職員の維持・確保

人材不足・物価高騰・少子高齢化などの中、新規採用・育成の活動をより進め既存職員の雇用を維持する政策や給与・待遇を見直し職業意欲向上に努めます。

### (イ) 質の向上

Web研修・実地研修を組み合わせ、多くの研修を受講できる体制を強化、各資格取得を支援し職員のレベル向上を目指します。

### (ウ) 災害への対応

大地震・大洪水・感染症などの天災のみならず、様々な事案を想定し緊急時の行動を身に付けるために具体的な訓練と教育を実行していきます。

### (エ) 感染症対策

高齢者施設としての基本的な感染症対策を継続します。

## 2. 役員等に関する事項

(1)

氏名	備考
石鍋 よね子	
金田 進司	
笹森 幸子	
田口 律子	
辻本 千鶴恵	
中崎 幸子	
茂崎 俊雄	
安井 明美	

任期：令和3年6月14日から就任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(2)

地位	氏名	備考
理事長	細井 和男	社会福祉法人西新井だいわ会施設長
理事	新井 五輪子	社会福祉法人邦栄会理事長
理事	大熊 邦子	
理事	軽部 まち子	
理事	佐野 洋介	社会福祉法人西新井だいわ会居宅部長
理事	鈴木 肇	社会福祉法人西新井だいわ会総務部長
監事	乗田 一正	税理士法人日本会計グループ 税理士
監事	永井 章子	元足立区職員 行政書士

任期：令和5年6月12日から就任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(3)

区分	員数(名)	報酬等の総額(万円)
評議員	8	8
理事	6	9
監事	2	11

上記理事には、従業員を兼務する理事3名の従業員報酬等は含まれていません。  
上記報酬等の総額には、実費支給の交通費は含まれていません。

以上